



本学講師が『ベンチャー・カップCHIBA』でグランプリを受賞しました。

平成30年11月28日（水）に開催された第17回『ベンチャー・カップCHIBA』ビジネスプラン発表会において、医学研究院救急集中治療医学の中田 孝明講師（株式会社Smart119代表取締役）の「音声認識・AIを用いた早く正しく効率的な救急医療支援「Smart119」」がグランプリを受賞しました。

<Smart119の事業概要>

本事業は、より早く・より正しい救急医療を効率的に受療できることを支援するサービスであり、音声認識による要請者と119番（消防指令センター）の通話内容の自動テキスト化、蓄積された情報のAIによる傷病名自動予測診断解析を行い、これらをリアルタイムに全ての受入れ候補医療機関に一斉に情報共有することを可能とする自治体向けサービスである「Smart119救急情報システム」と、いざ119番通報が必要という時に備え、救急医療に必要な情報が予め蓄積可能な個人用スマートフォンアプリ「Smart119個人用アプリ」の2つの製品で構成されております。住民が119番通報してから医療機関での初期治療までの救急医療現場では急速に多くの情報が発生しますが、現状医療現場で行われている電話・紙記録によるアナログなリレー方式は非効率的で、早く正しい医療の障壁や、たらい回しの一因になっており、本事業により、この問題の解決が期待できます。

<『ベンチャー・カップCHIBA』とは>

（公財）千葉市産業振興財団が、千葉市発の将来性のある新たなビジネスの創出を目指し、平成14年度から中小・ベンチャー企業支援の一環として実施しているビジネスプランコンテストです。



発表会の様子、中央がグランプリの中田講師